

分類項目	資産・備品管理システム
資産管理	資産・備品管理データコレクト

導入業種	業種全般 (総務・設備管理・施設管理)
主要機器	PC、ラベルプリンタ、ハンディターミナル(Sparklet)、通信ボックス
導入環境 並びに 導入前の問題	<p>資産管理は税務の関係で年に1度は状況確認が必要である。 各部署での管理になっているが、償却の完了や破損による減却が必要な資産の管理には目が行き届かない。 併せて修理の必要な資産については、適時修理等の適切な処理が必要だが放置されることがあり、必要時に使用できないこともある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資産・備品の管理を効率良く行いたい ・ 償却完了や破損減却の処理が年に一度の税務報告時に苦勞せず行いたい ・ 資産管理台帳や備品管理台帳の作成とその報告書の作成を効率よく行いたい
システム概要	<p>資産・備品の購入時に管理登録を行い、管理バーコード(BC)を発行、現物に貼付を行う。(手持ち品についても登録 BC 発行・貼付を行う)</p> <p>全ての被物品に BC を貼付、必要に応じ(1回/年、1回/月)データの収集にハンディターミナル(Sparklet)を使用し実施する。これにより「いつ・どこで・誰が・どの資産(備品)を・どの様な状態で」確認したかの情報データが収集でき、トレーサビリティを確保し、資産・備品の管理を適切にサポートする。</p> <p>台帳の更新 収集データと過去の記録との照合により償却・減却処理を可能にし、台帳の更新を行います</p> <p>バックトレサビリティ 資産・備品の状況をハンディターミナルが記憶し、PCへデータ送信、記録の管理を可能にする。</p>
システム構成	<p>資産・備品の BC を読み取りデータをコレクト、PCへ転送するまで HT にデータを保持する [いつ・どこに・誰が・何を]</p> <p>収集したデータを元に資産台帳の更新を行う。必要に応じた帳票を作成する</p>
導入による効果	<p>ハンディターミナル利用により資産・備品管理が適切にでき成果が出た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HT を使用することでデータ収集の効率が大幅に上がった ・ 資産・備品の状況データが収集できるようになり管理し易くなった ・ 償却完了品や減却必要品が判るようになり管理が適切に行えるようになった ・ 資産台帳・備品台帳の作成時間が大幅に短縮した
その他	